

瓜代農園の利用者からのアドバイス

楽しさ

子供の頃は家の手伝いはしなかったけれど、収穫は楽しいし、嬉しい。野菜を無駄にしないことを学びました。

育て方

マルチを張れば水やり不要なので、通路から遠い区画でも大丈夫です。

知識習得

隣の農地を借りている方々に短く質問して、様々なやり方を聞いて参考にするのが一番わかりやすいです。

他種の作物を育てる場合は、特にこのコミュニケーションでの知識が必要になると思います。

育て方

水やりは毎日しなくても良いです。

草の除草はこまめにする必要があります。晴れている日には、ほぼ毎日していた方が楽です。

知識習得

本の通りにやっても同じようにできるとは限りません（予想外のアクシデントが多いです）。

やりながら学んで行くことが大切だと思います。



楽しさ

収穫してすぐ茹でた枝豆やトウモロコシは極上の味です。ナス、万願寺トウガラシ、オクラ、シソ、葉ネギ……くり返し収穫できるので家計にも助かります。

キュウリは好みの大きさを収穫でき、スーパーでは手に入らない美味しさです。

楽しさ

- ① 野菜を育てることは健康を保つために大きく役立つ。
- ② 農薬を使用しないで育てることができるので、安全・安心。
- ③ 農園で人と話すことができるので体にも良い。
- ④ 経済的にも役立つ。

知識習得

栽培技術等の育て方は、インターネットですべて調べることができるので、安心して取り組むことができます。

育て方

土を耕運機等で細かく耕して、フカフカにしてから植えると良いと思います。

育て方

支柱を購入する際、細かく短い支柱は使い道が少ないと感じます。台風等で簡単に曲がるので、太く長いものをそろえた方が良いです。

1株に対してどの程度の収量になるのか知っておいた方が、収穫時期に困らないです。特にししとうは1株でもたくさん採れます。



楽しさ

栽培は好きにやればいいと思います。失敗も含めて楽しいと思います。

知識習得

- ① 季節に合った野菜、植物を植えること。
- ② 植物の手入れなど事前にインターネットなどで調べておくこと。
- ③ 利用者同士であいさつしたり、コミュニケーションを取ったりすること。
- ④ うまく育たない野菜などの失敗があっても諦めないこと。

育て方

- ① 野菜には種まき・育成の適期があるので、それを守れば必ず成功します。
- ② 野菜の育成日誌をつけると良いと思います。
限られたスペースの連作障害の工夫（耕地・肥料の量・水やり・追肥等々）を詳しく記録する。成功・失敗の原因を自分なりの野菜作りの実績とすることです。

育て方

- ① 土づくり 種や苗を買ってきていきなり植えるのではなく、野菜が育つような土づくりをすること。
- ② 防虫ネット 農薬を使わずに育てるため、防虫ネットが必要です。

知識習得

- ① 図書館に行って野菜栽培関係の雑誌等を読んで基本の予備知識を学ぶこと。
- ② 他の人の畑を見せてもらったり、聞いたりして最初は見様見真似で気楽に楽しむこと。



野菜の育て方の参考例

トマト

分類：ナス科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

強い光を必要とします。特に果実ができる頃に強い光があると、形の良い果実ができます。また、脇芽は取るようにしましょう。
過湿には弱いので、高畝を作るなど、排水対策をすると良いでしょう。



ピーマン

分類：ナス科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

花芽を増やすときには、やや低めの温度の方が花数が多くなります。一方で、高温では株や花の生育が良くなったり、果実が多くなりやすくなりますが、落花が多くなります。
水分については、乾燥しても過湿にしても弱いので、ほどよい排水と保水となるように土づくりをすると良いでしょう。

ナス

分類：ナス科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

高温と強い光、多くの肥料を好みます。実ができてからは、肥料を切らさないように定期的に与えましょう。乾燥に弱いものの、水はけが悪いと根の先端が痛みます。
果実を育てるには多くの水分を必要とするため、夏の暑く地面が乾燥しやすい時期には、特に水分を与え、藁や雑草などで敷物をしましょう。



キュウリ

分類：ウリ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培				□	□	■	■	■	■	■		

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

本来は高温を好む野菜ではありますが、真夏の酷暑では、生育に良くありません。そのため、その酷暑の前に栽培をするのが望ましいです。また、乾燥に弱い野菜です。

果実には水分が重要であり、果実が大きくなる時期には水分が不足しないようにしましょう。病気にかかりやすいため、定期的に殺菌剤を施すと良いでしょう。

ハクサイ

分類：アブラナ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培								□	▨	■	■	■

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

定植は9月10日～20日頃に行います。十分な葉の枚数を得るには、外気が低温になる前に葉の枚数を確保する必要があります。

結球時には、少量肥料を与えます。

細い根を比較的広範囲に伸ばすため、土を耕すときには深めにすると良いでしょう。

アブラムシなどが発生しやすいため、殺虫剤などで対策しましょう。



ブロッコリー, カリフラワー

分類：アブラナ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培							□	▨			■	■

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

花蕾をつくるには、ある程度の茎の大きさが必要です。そのため、花芽を出し始める寒い時期よりも前に、株を大きくすると良いでしょう。

水を得る力が強いので、乾燥には強く、水分が多くなると生育が悪くなります。



ダイコン

分類：アブラナ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

根を大きくするには、葉の枚数を増やす必要があります。葉の成長は、寒さを感じて花芽を出そうとすると停止するため、その前に葉を成長させる必要があります。

酸性気味の土でも耐性があるため育ちます。水分が多すぎると病気にかかりやすくなるため、高畝にして排水のよい状態で種まきすると良いでしょう。



エダマメ

分類：マメ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

生育には、強い光と暖かい温度を必要とします。連作への耐性は低いです。

開花してから土壌が乾燥すると、実のでき方や肥大に良くないため、実が成長する時期は、特に土壌の乾燥に気を付けましょう。また、開花し始めたらず虫が来るため、殺虫剤で対策すると良いでしょう。



エンドウ

分類：マメ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

低温に強く、秋にまいて春に収穫することが多いです。根は細く、深くまで伸びるため、深く耕すと良いでしょう。過度な水分、酸性の土、連作に弱く、気を付けましょう。

生育を良くするには光を当てる必要があるため、つるに光が当たるように誘引するとともに、後から生えてきたつるを摘み取り、光を当てると良いでしょう。

ネギ

分類：ユリ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

乾燥には比較的耐性がありますが、過剰な水分に弱いです。そのため、排水性、通気性のよい土にすると良いでしょう。

種まきは、12月～6月頃が好ましいです。株毎の幅を3～5cm程度、深さは15～20cm程度で植えます。白くて長い葉を得るため、何回か土寄せをします。寄せる土の高さは、下葉の少しまでで抑えると、ネギが太く育ちます。

タマネギ

分類：ユリ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

日が当たる時間が増え、暖くなると葉が成長します。球が大きくなる際に葉が倒れ、葉が枯れるまで球は大きくなります。

乾燥に弱く、土壌が乾燥すると球の肥大が悪くなります。また、寒さに当たると花芽を出そうとし、球の成長が悪くなります。



ニンジン

分類：セリ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

発芽率は70%程度で他の野菜に比べてやや低く、覆土が厚いと発芽率が低下します。水分の変化が大きいと形が悪くなり、特に生育の初期には水分が必要です。

間引きをして、株の幅を取るようにしましょう。

イチゴ

分類：バラ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

寒さには比較的強いものの、高温や乾燥には弱いです。また、寒さで休眠させないと、暖かくなってもうまく成長しません。

開花後は、肥料を切らないようにするとともに、果実が大きくなる時期には、水分をよく与えると良いでしょう。

スイートコーン

分類：イネ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

高温と強い光が必要です。肥料は根元ではなく、根の先端から吸収されます。根を切ったり傷めたりすると、肥料を吸収する力が弱まるとともに、倒伏をしやすくなるため、注意しましょう。

開花時にも虫が寄って実被害が出てくるため、殺虫剤で対策すると良いでしょう。



サトイモ

分類：サトイモ科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培												

□ たねまき ▨ 定植 ■ 収穫

コメント

高温で多湿な環境を好み、乾燥や連作に弱いです。そのため、高温で乾燥するときには、水分を与えたり敷き藁を施します。

栽培期間が長いため、緩効性の肥料が良いでしょう。

種イモを植えたら、マルチや藁、雑草などで保温して芽を出させると良いでしょう。

